

薬局業務継続計画

(災害対策編)

薬局BCP

シマダ調剤薬局

令和 6 年 4 月 1 日	制 定	
令和 年 月 日	一部改正	
令和 年 月 日		

1) 薬局業務継続の基本方針

当薬局は、災害規模及び自局の被災状況に応じたできる限りの業務継続を行う。
また、超急性期には緊急医療救護所等において、地域の医療救護活動に従業員を派遣する。
学校薬剤師が担当している学校が避難所として開設されている場合は環境衛生検査を行う。

1. 局内の患者・顧客及び従業員の安全確保

- ① 開局時間中に災害が発生した場合、患者・顧客の安全確保のため、近くの避難場所（避難所：石炭記念公園）が開設されているか確認し、従業員が誘導する。
- ② 開局時間外に災害が発生した場合は、島田良知（開設者）又は島田沙織（役員）が従業員の安否確認を行う。
- ③ 夜間に発災した時は、従業員は参集行動を行わず、安全確保ができていれば翌朝9時までに参集する。

避難場所：ホームページで確認し地図添付

https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/bousai/kiji0032734/3_2734_15498_up_s5de3uo8.pdf

※避難場所が遠い場合は、地区の避難場所も一緒に確認を

2. 重要な業務の継続

- ① 処方箋応需体制を維持する。
- ② 一般用医薬品及び医療雑貨等の供給を維持する。
- ③ 開設者又は管理薬剤師は、交通事情等従業員の安全確保を勘案し、業務再開時期を決定する。

3. 災害救護活動への参加

福岡県薬剤師会主催の災害支援薬剤師研修を受講した薬剤師は、福岡県薬剤師会災害対策本部から災害支援薬剤師の募集があった際は、可能であれば地域医療救護活動に従事する。

（研修を受けていない薬剤師も参加できる）

（別表1 災害支援薬剤師班登録者名簿）

開設者は、薬剤師が地域医療救護活動に従事する体制を整える。

4. 財政基盤等の維持

- ① 被災規模に応じて、薬局の業務再開のための手段を講じる。
- ② 収集した情報は、速やかに職員に通知する。
- ③ 新興感染症等感染症に関する情報入手先を予め調べておく。（別紙1）。

2) 平時の対応

1. 指揮命令系統の決定

休日・夜間に災害が発生した場合に緊急参集するなど、災害時の薬局内での対応責任者を決める。

2. 建物・設備の安全対策

- ① 人が常駐する場所の耐震措置
- ② 設備の耐震措置
- ③ 水害対策
- ④ 薬局内および周辺の危険な箇所を把握しておく

3. 電気が止まった場合の対策

- ① 電気が再開した時の通電火災を防ぐためにブレーカーを落とすことを周知する。
- ② 被災時に稼働させるべき設備と非常用電源を確保する。(自家発電機もしくは代替策)

4. ガスが止まった場合の対策

- ① ~~ガスの元栓を閉めることを周知する。~~
- ② ~~被災時に稼働させるべき設備と代替策を検討する。~~

5. 水道が止まった場合の対策

被災時に必要となる飲料水および生活水の確保

(飲料水： 本、生活用水：ポリタンク等)

6. 通信が麻痺した場合の対策

- ① 設備の耐震措置被災時に施設内で実際に使用できる方法(携帯メール)などについて、使用可能台数、バッテリー容量や使用方法等確認する。
→ 携帯電話／携帯メール／PHS／PCメール／SNS
- ② 地区薬剤師会との通信手段を確認する。

7. システムが停止した場合の対策

電力供給停止などによりサーバー等がダウンした場合の対策(手書きによる事務処理方法など)

浸水リスクが想定される場合はサーバーの設置場所を検討する。

データ類の喪失に備えて、バックアップ等の方策を検討する。

8. 衛生面(トイレ等)の対策

被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性があるため、衛生面に配慮し、トイレ・汚物対策を検討する。

9. 必要品の備蓄

被災時に必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄する。定期的にリストの見直しを実施する。

備蓄品によっては、消費期限があるため、メンテナンス担当者を決め、定期的買い替えるなどのメンテナンスを実施する。

3) 緊急時の対応

1. 業務継続のための指揮命令系統

① 業務継続又は再開の指示

- (1) 島田（開設者）は、業務継続及び再開に向けて可能な限りの情報収集を行い、業務継続又は再開の指示を行う。
- (2) 管理薬剤師は自薬局及び従業員の被災状況に関する情報を収集し、業務継続又は中断の指示を開設者に求める。
- (3) 開設者が指揮できない場合は当社取締役島田沙織が当面の間、指揮を代行する。
- (4) 開設者及び管理薬剤師が指揮できない場合は、（勤務薬剤師 衛藤翔）が、指揮を代行する。
- (5) 業務再開の見通しを検討し、地域の被災者に広報する。

② 業務継続のための資材等の確保

- (1) 開設者は、管理薬剤師から業務継続のために必要な資材の確保に関する要請があった場合、速やかに対応策に基づいた調達を行う。
- (2) 管理薬剤師は業務継続のための人員確保及び資材調達に努める。

③ 業務継続のための局内会議の開催

- (1) 開設者は業務継続に向けての情報収集及び分析のため可能な限り薬局内の会議を定期的を開催する。

2. 業務再開

当薬局において再開する業務は、発災時刻及び発災後からの状況変化を考慮して、経時的に定める。（様式Ⅳを参照）

業務再開の優先順位

当薬局において被災時に優先して継続又は再開する業務の優先順位を下記のように決定する。

1. 災害処方箋の応需及び一般用医薬品等の供給
2. 通常処方箋の応需
3. 在宅訪問業務
4. 学校薬剤師業務等医薬品供給以外の業務
5. 実務実習生の受け入れ
6. 従事者の生涯教育に関する業務

① 発災直後・超急性期（発災～72時間）

(1) 開局時間に発災した場合

- 患者・顧客の安全確保のため、従業員による避難誘導を行う。
- ライフライン（通信・電気・水）の状況により、調剤業務及び一般用医薬品等の供給体制を「発災後経過時間に応じた業務継続の目標」（様式Ⅳ）に従って維持する。
- 地区薬剤師会に被災状況を報告する。（連絡出来ない場合福岡県薬剤師会）報告用紙は様式Ⅰを使用する。
- 災害支援薬剤師班に登録した従業員（別表1）は、薬剤師会等からの要請があり且つ自薬局の営業に影響がない場合、速やかに緊急医療救護所での医療救護活動の従事に努める。

(2) 開局時間外に発災した場合

- 非常非常時出勤者（様式Ⅱ④-2）は自動参集して、翌朝よりの調剤業務及び一般用医薬品等の供給体制を「発災後経過時間に応じた業務継続の目標」（様式Ⅳ）に従って確保する。

② 急性期（4日目～1週間）

- 近隣医療機関の再開状況を確認し、調剤業務による医薬品供給体制「発災後経過時間に応じた業務継続目標」（様式Ⅳの下欄）に従って維持する。
- 一般用医薬品及び医療雑貨等の供給体制を維持する。
- 医療救護所等での医療救護活動に従業員を派遣に努める。
- 在宅患者の安否や服用している医薬品の状況を確認する

医療機関名	電話	F A X
田川市立病院	0947-44-2100	0947-45-0715
社会保険田川病院	0947-44-0460	0947-45-6540

③ 急性期以降（1週間以降）

- 近隣医療機関の診療再開状況を確認し、通常業務体制を確保する。
- 医療救護所等での医療救護活動に従業員を派遣に努める。
- 在宅患者に必要な医薬品等を届ける

3. 業務継続に向けての具体的対策

① ライフライン寸断時の対策

(1) 自家発電機により最低限の業務を行う場合

- 発電で使用できる機器は、薬袋発行機、分包機、冷暗所、電子天秤、最低限の室内照明とする。

(優先順位：夏場①冷暗②分包③薬袋④天秤、冬場①分包②冷暗③薬袋④天秤)

(2) 電力で稼働する調剤機器が使用不能の場合

- 手書き薬袋、薬包紙、電池式天秤等により調剤する。
- 蓄電式室内照明（LED等）を使用し照明を確保する。

② 従業員の安否確認

- 閉局時間外に災害が発生した場合は、島田良知（開設者）又は島田沙織（役員）が従業員の安否確認を行う。
- 従業員は、発災後速やかにメール、(LINE WORKS)に状況報告を行う。

② 事業継続のための人員確保

- 重要業務を遂行するための最低限の人員（薬剤師1名、事務員1名）を確保するため、通勤可能従業員を事前に調査しておく。
- 夜間に発災した時は、従業員の夜間参集は行わず、安全が確保された場合翌朝（9）時まで参集する。
- 開局時発災した場合は、道路交通事情から従業員の帰宅や翌日以降の出勤の可能性を判断する。
- 超急性期における薬局での勤務時間を検討する。

④ 開局時間等

- 周辺地域の治安状態によって開局時間の変更を検討する。
- 治安状況によりドアホン等による対応を行う。

⑤ 医薬品等資材確保…医薬品卸店の活動状況を確認し必要資材を確保する。

- 必要医薬品については品目調達とするが、状況に応じて薬効分類での調達等代替薬に範囲を広げる。

医薬品卸との連携体制

医薬品卸	住所	電話	F A X
アステム	飯塚市綱分 761-19	0948-82-2666	0948-82-2543
翔薬	飯塚市有安 675	0948-31-1741	0948-82-0909
アトル	飯塚市口原 350-5	0948-96-3000	0948-96-3306
九州東邦	飯塚市有安 958-13	0948-82-3251	0948-82-2555
メディカルー光	北九州市小倉南区石田南 2-1-1	093-961-3662	093-962-0326
サンメディク	飯塚市徳前 206-1	0948-23-3676	0948-23-1831

4) 他施設との連携

- ① 連携先との協議
連携先と連携内容を協議中であれば、それら協議内容や今後の計画など
- ② 連携協定書の締結
地域との連携に関する協議が整えば、その証として連携協定書を締結
第二種協定指定医療機関指定書など
- ③ 地域のネットワーク等の構築・参画
設・事業所の倒壊や多数の職員の被災等、単独での事業継続が困難な事態を想定して、施設・事業所を取り巻く関係各位と協力関係を日ごろから構築しておく。地域で相互に支援しあうネットワークが構築されている場合はそれらに加入することを検討する

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容
社福) 添寿会	0947-82-0100	施設入所者薬剤支援
寿楽園	0947-45-7702	施設入所者薬剤支援
心笑み伊田	0947-46-4248	施設入所者薬剤支援
サテライトあんしん	0947-49-1211	施設入所者薬剤支援
後藤寺さくら園	0947-44-6606	施設入所者薬剤支援

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
田中内科医院	0947-44-5130	外来患者薬剤支援
上野病院	0947-28-2182	施設入所者薬剤支援
雪竹医院	0947-82-0125	施設入所者薬剤支援
岡部循環器科内科	0947-42-1349	在宅／施設薬剤支援
宮城内科胃腸科医院	0947-82-0008	在宅療養患者支援

【連携関係のある行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
地域包括支援センター（添田）	0947-41-3888	専門職種個別相談
地域包括支援センター（大任）	0947-41-8060	専門職種個別相談

5) BCPの内容の周知、改定及び訓練

① BCP策定及び改定に関する委員会

(1) 委員会の構成員

島田良知（開設者）、島田沙織（役員）、衛藤翔（従業員代表）計（3）名

(2) 委員会の役割

業務継続のための基本方針の決定又は状況の変化に基づく改定を行う。

基本方針に基づいた構成員の役割分担を定め、業務継続のための準備及び訓練を行う。

(3) 構成員の役割分担

開設者は、業務継続のための資材及び人員確保を管理薬剤師の要請に基づき準備する。

管理薬剤師は、発災時からの自薬局における業務継続のための対応策を他の従業員に周知させる。

② BCPに基づく訓練

(1) 毎年（11）月に訓練を行う。

・訓練内容は別途定める。

(2) 夏季（5）月・冬季（11）月を目安に災害対策資材を全従業員で点検する。

・消耗資材の交換及び機材の試用訓練を行う。

別表1 災害支援薬剤師班登録者名簿

番号	氏名	福岡県災害支援薬剤師登録の有無
1	島田良知	有
2		
3		

別表2 必要な備蓄資材

【医薬品・衛生用品・日用品・備品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当	確認チェック
例) アセトアミノフェン	0				
例) 食料・水	0				
例) 発電機、充電器	0				
例) ラジオ、携帯電話	0				
例) 簡易トイレ	0				

[別紙]

令和 年 月 日 による被害調査報告

薬剤師会名： _____ 薬剤師会
 報告日： _____

1. 地域の現状について (概況をすみやかにお知らせください)

2. 会員の被災状況 ※該当個所に○を付してください

() 被災会員・薬局なし

() 被災会員・薬局あり → 被災薬局数(概数)

※被害金額、詳細は後日でもさしつかえありません

NO.	会員名	会員区分 [A・B]	薬局名	住所	建物被害区分 <small>*店舗・店舗兼住居・住居・その他</small>	浸水 [○]	被害金額 (推定)	詳細	営業の見直し
1									

様式Ⅱ-1 被害の想定(震災)

① 想定地震・震度

想定する地震	例：警固断層帯南東部地震	想定される震度	6強
--------	--------------	---------	----

② 薬局周辺の被害状況の想定

対象区分		被害（利用可否）							
		3時間	6時間	12時間	24時間	3日	7日	14日	1カ月
ライフライン	電気						○	○	○
	電話（固定）						○	○	○
	電話（携帯）				△	○	○	○	○
	インターネット	△	△	○	○	○	○	○	○
	上水								○
	下水								○
	ガス								○
道路	道路通行(車)						○	○	○
鉄道	鉄道運行								○
処方箋を応需している医療機関の被災状況	田中内科医院					○	○	○	○
	上野病院				○	○	○	○	○
	雪竹医院								
	岡部循環器科								
その他特記事項 (周辺での火災発生の有無等)									

参考：ライフラインの復旧期間イメージ

電力	復旧まで概ね1週間程度
通信	復旧まで概ね2週間程度
ガス	復旧まで概ね1～2カ月程度
上水道	復旧まで1カ月以上
下水道	復旧まで1カ月以上

③ 自薬局の被害状況の想定

対象区分		被害（利用可否）							
		○：利用可 ×：利用不可							
		3時間	6時間	12時間	24時間	3日	7日	14日	1カ月
ライフライン	電気						○	○	○
	電話（固定）						○	○	○
	電話（携帯）				△	○	○	○	○
	インターネット	△	△	○	○	○	○	○	○
	上水								○
	下水								○
	ガス								○
道路	道路通行（車）						○	○	○
鉄道	鉄道運行								○
処方箋を応需している医療機関の被災状況	田中内科医院					○	○	○	○
	上野病院				○	○	○	○	○
	雪竹医院						○	○	○
	岡部循環器科						○	○	○
その他特記事項 （周辺での火災発生の有無等）									

参考：ライフラインの復旧期間イメージ

電力	復旧まで概ね1週間程度
通信	復旧まで概ね2週間程度
ガス	復旧まで概ね1～2カ月程度
上水道	復旧まで1カ月以上
下水道	復旧まで1カ月以上

様式Ⅱ④ 従業員の参集状況の想定

氏名	職種	勤務形態	自宅からの距離	参集に係わる特記事項	発災後経過時間					
					3時間	6時間	12時間	24時間	72時間	1週間
島田良知	管理薬剤師	常勤	5km		○	○	○	○	○	○
衛藤翔	薬剤師登・事	常勤・パート	16km				○	○	○	○
島田沙織	薬剤師登・事	常勤・パート	5km	家族に要介護者あり	○	○	○	○	○	○
白石ひとみ	薬剤師登・事	常勤・パート	7km				○	○	○	
西田沙季	薬剤師登・事	常勤・パート	1km						×	×
	薬剤師登・事	常勤・パート	km							
	薬剤師登・事	常勤・パート	km							
	薬剤師登・事	常勤・パート	km							

登:登録販売者、事:事務

○:参集 ×:参集不可能

様式Ⅱ-2 被害の想定（風水害）

① 水害の想定

想定する水害	例：筑後川氾濫	想定される浸水	
--------	---------	---------	--

② 薬局周辺の被害状況の想定

対象区分		被害（利用可否）							
		○：利用可				×：利用不可			
		3時間	6時間	12時間	24時間	3日	7日	14日	1カ月
ライフライン	電気						○	○	○
	電話（固定）						○	○	○
	電話（携帯）				△	○	○	○	○
	インターネット	△	△	○	○	○	○	○	○
	上水								○
	下水								○
	ガス								○
道路	道路通行（車）						○	○	○
鉄道	鉄道運行								○
処方箋を応需している医療機関の被災状況	田中内科医院					○	○	○	○
	上野病院				○	○	○	○	○
	雪竹医院						○	○	○
	岡部循環器科						○	○	○
その他特記事項 （周辺での火災発生の有無等）									

参考：ライフラインの復旧期間イメージ

電力	復旧まで概ね1週間程度
通信	復旧まで概ね2週間程度
ガス	復旧まで概ね1～2カ月程度
上水道	復旧まで1カ月以上
下水道	復旧まで1カ月以上

③ 自薬局の被害状況の想定

対象区分		想定する被害																																						
建物外部		<input type="checkbox"/> 業務継続可能： <input type="checkbox"/> 業務中止：																																						
建物内部 (天井、ガラス、窓 電気設備等)		<input type="checkbox"/> 特段の被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり：																																						
調剤設備		<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり：																																						
医薬品 ・ 資材	薬局内 保管分	<input type="checkbox"/> 使用可能（備蓄 日分） <input type="checkbox"/> 使用不可																																						
	調達の 見通し	<input type="checkbox"/> 供給あり <input type="checkbox"/> 供給なし： 日程度																																						
人員	従業員の 被害	<input type="checkbox"/> あり： <input type="checkbox"/> なし																																						
	従業員の 参集	参集予測(様式Ⅱ④-1,④-2より作成) 登:登録販売者、事:事務 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発災</th> <th>区分</th> <th>3時間</th> <th>6時間</th> <th>12時間</th> <th>24時間</th> <th>3日間</th> <th>1週間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">営業 時間中</td> <td>薬剤師</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>登・事</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">営業 時間外</td> <td>薬剤師</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>登・事</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	発災	区分	3時間	6時間	12時間	24時間	3日間	1週間	営業 時間中	薬剤師	%	%	%	%	%	%	登・事	%	%	%	%	%	%	営業 時間外	薬剤師	%	%	%	%	%	%	登・事	%	%	%	%	%	%
		発災	区分	3時間	6時間	12時間	24時間	3日間	1週間																															
		営業 時間中	薬剤師	%	%	%	%	%	%																															
			登・事	%	%	%	%	%	%																															
営業 時間外	薬剤師	%	%	%	%	%	%																																	
	登・事	%	%	%	%	%	%																																	
※営業時間中の発災の場合は、帰宅困難者となる従業員が発生																																								
応援の 見通し	<input type="checkbox"/> あり： <input type="checkbox"/> なし																																							
お客様	お客様の 被害	<input type="checkbox"/> あり： <input type="checkbox"/> なし																																						
	利用見 通し																																							
その他・特記事項																																								

参考：参集可否の判断目安

自宅からの距離	参集可否の判断例
～10km	参集可能
10km～20km	参集可能性 50%
20km～	参集不可能

様式Ⅱ④ 従業員の参集状況の想定

氏名	職種	勤務形態	自宅からの距離	参集に係わる特記事項	発災後経過時間					
					3時間	6時間	12時間	24時間	72時間	1週間
島田良知	管理薬剤師	常勤	5km		○	○	○	○	○	○
衛藤翔	薬剤師登・事	常勤・パート	16km				○	○	○	○
島田沙織	薬剤師登・事	常勤・パート	5km	家族に要介護者あり	○	○	○	○	○	○
白石ひとみ	薬剤師登・事	常勤・パート	7km				○	○	○	
西田沙季	薬剤師登・事	常勤・パート	1km					×	×	
	薬剤師登・事	常勤・パート	km							
	薬剤師登・事	常勤・パート	km							
	薬剤師登・事	常勤・パート	km							

登:登録販売者、事:事務

○:参集 ×:参集不可能

様式Ⅲ 通常業務、応急業務の把握と優先業務

業務ごとに該当する継続・再開目標に○をつける

	業務名称	業務番号	優先業務の継続・再開目標					
			3時間	6時間	12時間	24時間	72時間	1週間
通常業務	・処方箋受付	1	○	○	○	○	○	○
	・処方監査	2	○	○	○	○	○	○
	・薬歴の照合	3					○	○
	・疑義照会	4			○	○	○	○
	・薬袋の作成	5	○	○	○	○	○	○
	・医薬品情報発行	6					○	○
	・計数調剤	7	○	○	○	○	○	○
	・計量調剤	8	○	○	○	○	○	○
	・調剤監査	9	○	○	○	○	○	○
	・服薬指導 ・お薬手帳の交付	10					○	○
	・薬歴の作成	11					○	○
	・会計	12	○	○	○	○	○	○
	・調剤報酬請求	13					○	○
	・							
・一般用医薬品の販売	14	○	○	○	○	○	○	
・医療雑貨の販売	15					○	○	
・生活雑貨等の販売	16					○	○	
・在宅訪問業務	17					○	○	
・実習生の受け入れ	—	×	×	×	×	×	×	
・学校薬剤師業務	—	×	×	×	×	×	×	
・従事者の生涯教育に関する業務	—	×	×	×	×	×	×	
応急業務	・発災時受付済み処方箋への対応	18						
	・患者の避難誘導 ・従業員の安否確認 ・店舗の状況確認 ・関係機関への連絡(処方箋を応需している医療機関・地区薬剤師会等)							
	・災害医療救護活動							

【業務資源とリスク評価】 必要不可欠な業務資源は、太字にして下線を引く。

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	
ヒト	薬剤師	・	・	
モノ	常備品 ※薬局が日常的に 保有しているもの	天秤	・	
		メスシリンダー	・	
		分包機	・	
		スパーテル	・	
		トレイ	・	
		薬包紙	・	
		容器	・	
	外部調達品 ※外部からの定期的 な供給が必要な もの	電池式天秤	・	・
			・	・
			・	・
情報		・	・	
ライフライン	精製水	・	・	

【業務継続目標】

発災後経過時間		3 時間	6 時間	12 時間	24 時間	72 時間	1 週間	
目標とするサービスレベル		応急対策業務				優先通常業務		
業務を継続 するための 方策・代替手段	サービス提供方法・ 手段の変更	剤形変更						
	サービス内容 (量・質)の変更	OD 錠へ変更						
		錠剤を砕く						

【業務資源とリスク評価】 必要不可欠な業務資源は、太字にして下線を引く。

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策
ヒト	事務員・薬剤師	・	・
モノ	常備品 ※薬局が日常的に 保有しているもの	レセコン	・
		CD	・
		プリンター	・
		電卓	・
			・
	外部調達品 ※外部からの定期的 な供給が必要な もの	パソコン	・
		紙レセプト用紙	・
			・
			・
			・
情報		・	
ライフライン		・	

【業務継続目標】

発災後経過時間		3 時間	6 時間	12 時間	24 時間	72 時間	1 週間		
目標とするサービスレベル		応急対策業務				優先通常業務			
業務を継続 するための 方策・代替手段	サービス提供方法・ 手段の変更	請求業務しない				請求整理			
	サービス内容 (量・質)の変更	請求業務しない					薬品の使用一覧 表を作成	一覧表の薬価 で金額を計算	災

【業務資源とリスク評価】 必要不可欠な業務資源は、太字にして下線を引く。

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策
ヒト	<u>登録販売者・薬剤師</u>	・	・
モノ	常備品 ※薬局が日常的に保有しているもの	OS-1	・
		アクアライト	・
		ロキソニンS	・
		ガスター10	・
		ビオフェルミンS	・
		ボルテレンテープEX	・
		新ロート目薬	・
		サンテ 40 プラス	・
	外部調達品 ※外部からの定期的な供給が必要なもの	総合かぜ薬	・
		総合胃腸薬	・
便秘薬		・	
情報		・	・
ライフライン		・	・

【業務継続目標】

発災後経過時間		3 時間	6 時間	12 時間	24 時間	72 時間	1 週間
目標とするサービスレベル		応急対策業務				優先通常業務	
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	要指導・1類以外は、登録販売者で対応してもらう					
	サービス内容(量・質)の変更						

【業務資源とリスク評価】 必要不可欠な業務資源は、太字にして下線を引く。

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策
ヒト	事務員・薬剤師	・	・
モノ	常備品 ※薬局が日常的に保有しているもの	絆創膏	・
		滅菌ガーゼ	・
		包帯	・
		テープ	・
		オブラート	・
		マスク	・
		消毒綿	・
	外部調達品 ※外部からの定期的な供給が必要なもの	綿棒	・
		体用ウェットティッシュ	・
		オムツ	・
情報		・	
ライフライン		・	

【業務継続目標】

発災後経過時間		3 時間	6 時間	12 時間	24 時間	72 時間	1 週間
目標とするサービスレベル		応急対策業務				優先通常業務	
業務を継続するための 方策・代替手段	サービス提供方法・ 手段の変更	なるべく 事務員で対応					
	サービス内容 (量・質)の変更						

【業務資源とリスク評価】 必要不可欠な業務資源は、太字にして下線を引く。

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策
ヒト	薬剤師	.	.
モノ	常備品 ※薬局が日常的に 保有しているもの	.	.
		.	.
		.	.
		.	.
		.	.
	外部調達品 ※外部からの定期的 な供給が必要な もの	.	.
		.	.
		.	.
		.	.
		.	.
情報	.	.	
ライフライン	.	.	

【業務継続目標】

発災後経過時間		3 時間	6 時間	12 時間	24 時間	72 時間	1 週間
目標とするサービスレベル		応急対策業務				優先通常業務	
業務を継続 するための 方策・代替手段	サービス提供方法・ 手段の変更	内服の方は 近隣の救護所で 対応してもらう。		点滴の方は 最低限の輸液 で対応してもらう			
	サービス内容 (量・質)の変更			夏場は保管で きないので1~2 日分毎で対応又 は温冷どろみ基			